

# 日々 往来

福永 憲高



今年のカニの初競りで「五輝星」が1枚500万円で競り落と

され、大きな話題となった。初競りでの高値といえば、今年、正月の豊洲市場(東京都江東区)で青森県大間産クロマグロに3億円を超える値が付いたことを思い出す。1キ当たり単価を計算すると、青森のマグロ(278キ)が約120万円なのに対し、鳥取のカニ(1・2キ)は

## 500万円のカニ

約420万円と、3倍以上高い。から得られる感動に対する対価1キ4200万円というのでは、家電や雑貨などの商品を購入する消費行動を「モノ消費」、

ヨーロッパのゴジョウは非常に貴重で同じ重さの金と取引されたと聞くと、初物の「五輝星」も金とほぼ同じ価値ということになる。来年は東京五輪・パラリンピックもあって多くの訪日客が予想される。鳥取県にも多

万円のフルコースとして提供されたぞうだ。これは、カニそのものに800万円が支払われたというよりも、「鳥取県改め蟹取県が誇る最高級ブランド」令和の時代の最初の競り「ギネス世界記録」といったストーリーとともに絶品のカニを楽しむという経験や体験、そして(日本銀行鳥取事務所長)